

東京農工大学 講師または准教授 教員公募要項【女性限定公募】

【公募概要】

学長リーダーシップによるダイバーシティとインクルージョン実現の一環である「女性教員の計画的増員」方針に基づき、「女性教員キャリアデザイン制度」による任期の定めのない講師または准教授を公募いたします。なお、今回は女性限定公募といたします。

「女性教員キャリアデザイン制度」により採用された女性研究者は、独立した研究室を運営でき、研究室の立ち上げに必要なスタートアップ資金配分、研究環境構築支援、メンターの配置を行います。また女性未来育成機構による各種学内支援制度を活用することによりライフイベント中の支援を受けることができます。

さらには、研究・教育を推進する経験を重ねた採用5年後に上位職選考を実施します。なお不適格となった場合、6年目又は7年目に再選考を受ける必要があります。（ライフイベントにより研究を中断した場合は、上位職選考及び再選考の時期を延期できます。）

【募集職種および人員】 講師または准教授 1名

【雇用形態】 常勤 任期の定めなし。裁量労働制（みなし週40時間）

【着任時期】 2022年10月1日以降、できるだけ早い時期

【専門分野】 農業環境工学

下記キーワードのいずれかに該当する教育研究を専門とする者

- (1). 農業食料工学
- (2). 農業農村工学
- (3). 農業情報工学

農学研究院農業環境工学部門においては、SDGsの目標である世界の貧困や飢饉等の課題解決や、地球規模の気候変動への適応に向け、先端技術を駆使しつつ自然環境と調和する農業生産基盤や農業生産技術に関する先導的農業イノベーションを目指した研究・教育に取り組んでいます。特に、農作業の自動化・安全性の向上、ポストハーベスト技術の開発、情報技術の応用、水や土壌、農村や生態系の管理技術の高度化に対する社会ニーズに応じて多様な研究を進めています。本部門では、農業生産基盤・生産技術に係る工学的研究を礎とし、国内外の地域固有の課題から地球規模の課題まで幅広く興味を持ち、農業環境工学分野での研究遂行能力に長け、持続的な農業ならびに農村地域社会構築のための人材育成に意欲をもって取り組んでいただける教員を公募します。

【教育活動】

本公募による女性研究者は、本学における学生の教育を担うことになるので、分野に応じた関係部局での学部と大学院の講義と大学院生の研究指導を行うことが求められます。ま

た自身がロールモデルとなり、女子学生の博士後期課程進学を促すよう努めることも求められます。

【応募資格】

- ・博士の学位を有しており、3年以上研究機関等での勤務経験を有する女性研究者
- ・熱意をもって大学院生・学部生に対する教育・研究指導を遂行できること。
- ・学内業務や社会貢献を積極的に担い、リーダーシップを発揮できること。
- ・国際的視野（英語活用能力）を有すること。
- ・国籍は問わない。ただし、日本語での授業が可能なこと。

【所属機関、勤務地】

所属：東京農工大学大学院農学研究院

（兼務）女性未来育成機構兼務

機関名：国立大学法人東京農工大学

勤務地：府中キャンパス 〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8

【給与】

年俸制、経歴・職位・職務内容に応じて、本学の規程により決定（賞与および各種手当あり）

【応募方法】

＜応募書類＞

（1）履歴書

電話番号、電子メールアドレスを記載すること

顔写真を履歴書中に添付すること

（2）研究目録：以下の項目に分類して年代順に並べること。著者名リストにある応募者名にアンダーラインを付し、責任著者に＊を付すこと。

（a）原著論文

（b）著書

（c）総説・プロシーディング・紀要

（3）これまでの研究成果の概要（図表を含め A4 用紙 2 頁以内）

（4）着任後の研究計画の概要（図表を含め A4 用紙 2 頁以内）

（5）教育実績および教育に関する抱負（A4 用紙 1 頁以内）

（6）研究費取得状況、基調・招待・依頼講演、特許、受賞、社会活動などの特記事項

（7）応募者について所見を求め得る 2 名の氏名・連絡先（電話番号、電子メールアドレスを含むこと）

(8) (2) の研究目録に記載した論文等のすべての PDF

- ・ 英文での申請も可能です。
- ・ 電子メールで応募してください。
- ・ 項目 (1) ~ (7) までは一つの PDF ファイルとし、項目 (8) はすべてのファイルを zip 形式として一つのファイルにまとめてメールしてください。最大ファイル容量 20 MB です (ファイル容量が大きい場合は、メールを複数回に分けて送付してください)。

電子メールのタイトルには「教員公募書類」という語句を入れてください。受領後、数日以内に確認メールを送付します。

・ 提出先：東京農工大学 大学院農学研究院 教授 中島正裕

E-mail : masal021@cc.tuat.ac.jp 電話 : 042-367-5911

<応募締切>2022 年 5 月 31 日

応募に係る個人情報、個人情報保護法及び本学規定に基づいて適切な取扱いをいたします。応募の事実は非公開としますが、選考上必要な範囲において照会等を行うことがあります。また、応募書類は返却しません。

【選考方法】

書類選考のうえ、面接を実施します。面接 (交通費・滞在費は応募者の自己負担となります) の日時等は、応募者に電子メールで連絡します。

【その他】

- 1) この取り組みは「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」(昭和 47 年法律第 113 号)第 8 条の規定に基づき実施しています。
- 2) 東京農工大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。
- 3) 東京農工大学女性未来育成機構 HP (<http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/josei/>)
- 4) 採用後、以下のとおりスタートアップ資金等の支援措置、および、上位職選考の機会が与えられます。

<スタートアップ資金>

スタートアップ資金は 3 年間で合計 300 万円です。4 年目以降の研究費は一般のテニユア教員と同等です。

<ライフイベント支援>

ライフイベントによる休職等の期間中は、女性未来育成機構による各種学内支援制度 (<http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/josei/support.html>) が利用可能です。また女性未来育成機構は、採用された女性教員に助言・サポートを行います。

<上位職選考>

採用後 5 年目に上位職選考を行い、採用部局での基準を満たせば上位職にキャリアアッ

プすることができます。なお不適格となった場合は 6 年目又は 7 年目に再選考を受けなければなりません (ライフイベントによる休職等の場合、上位職選考及び再選考の時期を延期できます)。上位職の適格基準は採用後 6 か月以内に採用部局設置の上位職選考委員会より通知されます。上位職選考及び再選考の結果不適格だった場合は、採用時の職位のままとなります。